

あいち自然環境団体・施設連絡協議会

設立趣意書

愛知万博での取組みをきっかけとして、環境に対する人々の意識が高まり、行政、NPO、地域団体、市民等、様々な立場から自然環境の保護や里山の保全活動が広がりを持ってきました。

しかしながら、自然というフィールドを同じくしているのにも関わらず、それぞれの自然関係施設や活動団体が結びつく機会が少ないなどの理由から、活動の広がりや持続性に行き詰まりが見え、せっかくの取組みが埋れてしまうという現実もあります。

人と自然の豊かな関係を通して、持続可能な社会を築くためには、学校や地域において自然に親しみ、自然から学ぶ環境学習の取組みの輪を広げていくこと、また、里山の保全や耕作放棄地の再生など、身近な自然を生かした地域活動や地域づくりが急がれます。

さらには、生物多様性の保全についての社会的関心の高まりを背景として、原生的な自然だけでなく、身近な自然や生態系の保全に協働して取り組んでいこうとする気運を高めることや、自然とのふれあいを通じて、心のゆとりや癒しを求めるニーズに応えていくことも必要です。

私たちは、自然環境についてこれまでに議論されてきた思想の蓄積と活動の財産を次の世代へ継承、さらに発展させていくために、様々な立場の活動団体と自然関係施設がネットワークを形成し、情報交換、連携活動、企画提案、協力協働による自然に関する普及啓発や活動の質的向上、人材育成を図ります。また、愛知万博の開催地で市民活動の原点である海上の森において「あいち海上の森センター」との協働・連携による、自然や森林に関する学習や交流等を推進します。さらに、他分野の連絡協議体や全国に向けてネットワークの輪を広げていくことを目指して「あいち自然環境団体・施設連絡協議会」をここに設立します。

平成19年10月11日

あいち自然環境団体・施設連絡協議会
設立準備会委員一同